



さいがいじ

# 災害時のこと

## いっしょに

## きめておきましょう

こべつひなんけいかく

### 個別避難計画

- どこに逃げるか
- どんな時に逃げるか
- だれがサポートするか
- 準備しておくものは



# こべつひなんけいかく 「個別避難計画とは・・・」



さいがいじ かくじつ ひなん しえん ひつよう かた さくせい  
災害時にあわてず、確実に避難するため、支援が必要な方に作成する  
こべつけいかく さいがいたいさくきほんほう きさい  
個別計画の事です。＜災害対策基本法に記載＞

けいかく  
計画を

## なぜつくるのか

だれひとり と のこ  
(誰一人取り残さないために)

- いざという時のため、準備をしておきましょう  
⇒どんなときに、だれに相談し、だれとどこに逃げるか決めておくことで、自分の命を守りましょう。
- 防災について考えましょう  
⇒個別避難計画をつくることを通して、自分ごととして、防災についての意識を高めましょう。

けいかく  
計画に

## かいておく内容

ひなんこうどう  
(スムーズな避難行動につなげる)

- 個別避難計画に書いておく内容は、支援する人などに知っておいてもらうべきことです  
⇒逃げる時に配慮が必要なこと  
・歩くときは、つえがいる  
・音がきこえにくい  
・持っていくお薬 など  
⇒支援する人はだれか(団体名も◎)  
⇒避難する場所、どの道を通るか など

けいかく  
計画を

## きょうゆう だれと共有するか

かお み かんけいせい たいせつ  
(顔の見える関係性が大切)

- 個別避難計画をつくる時に関わった人たちで、計画を共有します  
⇒関わる人たち(例)
  - ・福祉専門職
  - ・自治会 ・民生委員
  - ・校区福祉委員会
  - ・親族の方、近所の方
  - ・東大阪市
  - ・東大阪市社会福祉協議会 など

## ふくしせんもんしよく かが 福祉専門職の関わり

けいかくさくせい しえん ふかけつ じんざい  
(計画作成・支援に不可欠な人材)

- 福祉専門職の方々は、心強い皆さんの支援者です  
⇒福祉専門職(ケアマネジャー、相談支援専門員等)は、皆さんの身体の状況や生活内容を最も知っており、専門的な視点で判断できる人材です。  
福祉専門職の方といろいろお話をしながら、個別避難計画をつくりましょう。

ひがしおおさかし  
東大阪市

ふくしぶ ちいきふくしつ ちいきふくしか  
福祉部 地域福祉室 地域福祉課

でんわ 06-4309-3181 ファクス 06-4309-3815  
Eメール chiikifukushi@city.higashiosaka.lg.jp